

16 平和と公正を
すべての人に



寄稿

進藤 弘騎さん

独立行政法人国際協力機構（JICA）ブラジル事務所勤務
宮崎市出身 外務省入省 主に中南米や紛争地帯での業務
に従事。退省後、国連職員として難民支援活動に従事



平和の機会

最近、ロックミュージシャンの忌野清志郎氏が、ジョン・レノン氏の『イマジン』をカバーしたときのライブ映像で、「21世紀になれば世界が平和になると思っていたのに」とコメントしていたことを思い出します。

私が小学生だった90年代、冷戦も終わり、子どもながらになんとなく世界は良い方向に向かっていて、いざ世界は平和になるような期待感がありました。それを確認するかのように、イラクのクウェート侵攻は国連安全保障理事会の採択を通じて米国を中心とした多国籍軍が介入した結果、国際社会によって食い止められたというような事例もありました。当時、ブートロス・ガリ国連事務総長は、1992年に報告書「平和の課題（An Agenda for Peace）」を発表し、従来の平和維持だけでなく、紛争に介入して強制的に平和をもたらすように提唱したほどです。いよいよ国連中心主義による平和の実現が遠い夢の話ではなくなってきた唯一の時代を築きかけていました。

あれから30年の間に、いつの間にか世界は軍拡の時代に戻り、パレスチナ、ウクライナ、スーダン、世界のあちこちで戦争が続き、国際法の遵法意識は相対的に下がってきてはいないか危機感を感じます。第二次世界大戦以降、国際社会を引っ張ってきた米国は、自国第一主義を掲げて、その流れから国際協力をより強く国益に結びつけるべく、USAID（米国国際開発庁）を解体・縮小し、国務省への統合が進められました。こうした流れもあってか、我が国においても、政府開発援助（ODA）などの国際協力予算に対して、厳しい声が挙がります。

その一方で、私は宮崎市内で高校まで学び、大学卒業後には外務省、国連、赤十字、国際協力機構などで世界7か国において国際協力の現場を見てきました。各主要先進国の経済状況が厳しいと言えど、世界には絶対的貧困に喘ぐ状況があり、その惨状を知って頂ければ、まだまだ国際協力・支援の必要性を納得頂くことができると考えます。アフガニスタンのカブールで凍てつくような寒い朝に物を乞いをする裸足の老婆、ホンジュラスのテグシガルパの旧市街地でボロボロの下着一枚で路上生活をする女の子、ベネズエラ南部の鉱山地帯で銃声に怯えながらも地域の支援でどうにか授業を続ける小学校、ヨルダンの難民キャンプで不透明な将来を悲観しながらも学業を続けるこども達に心を打たれてきました。



ホンジュラスの小学校改修事業完成式

世界が混沌とする今だからこそ、国際協力の意義に立ち返り、取り残された人々を少しでも多く救済する決意を固める必要があり、国際協調によって恵まれない状況にある子ども、障がい者、マイノリティ等の方々を支援する国連児童基金（UNICEF）のような団体の活動が継続され、更に発展することを祈念しております。

最後に、国際政治の潮流により、これから数年間は、国際機関の主な資金源である各国政府からの拠出金は減少傾向を余儀なくされるかもしれません。こういった状況のなかでは、民間資金を活用する宮崎県ユニセフ協会の力が、これまで以上に求められる時代になるかと思えます。

コラム



宮崎県ユニセフ協会理事
宮崎大学学長 鮫島 浩

国連児童基金ユニセフは、第2次世界大戦後の1946年に設立され、本年度で80周年を迎えます。宮崎県ユニセフ協会は2001年に準備会を発足し、そこから数えると今年で25年、四半世紀の歴史を持つこととなります。この歴史あるユニセフ協会に参加できて大変光栄です。

子どもへの緊急援助で思い出すのは、1990年代に国際医療援助隊として訪れたアフガニスタン難民キャンプでのことです。ソ連の侵攻によって、多くの難民がカイバル峠を越えて隣国パキスタンに逃れていました。私が勤務していた野戦病院はペシャワール近郊にありましたが、そこは妊婦と新生児で溢れており、安全のために高い壁に囲まれていました。ただその外には、さらに多くの子ども達が不衛生な環境のもと、衣食住に困窮しつつも必死に生活していました。オギャーと生まれた場所によって、育った時代によって、同じ人間にこれほどに差が出て良いのか、深く考えさせられました。貧困のない世界、平和な世界を目指し、日々生活したいと思います。

第4回ユニセフ絵画展

2025年11月5日～11月9日

宮崎県立美術館 県民ギャラリー1



テーマ「私たちの未来～今、できること～」
小中学生が自分たちの未来を考え、今できることや、考えなければならないことなど、持続可能な地球への思いを深めることを願って実施しました。

応募総数 **139点** 小学校 35点
中学校 104点

審査員

宮崎県美術協会会長 山本祐嗣先生
びじゅつ教室 510 主宰 五十川和彦先生
生目台中学校校長 大澤由美子先生

五十川和彦先生の講評

構図構成、作品の完成度、どのようなメッセージが込められているかの3つの観点で作品を観ました。全体的に色鮮やかでレベルの高い作品が多くみられました。

日本ユニセフ協会 会長賞



宮崎市立那珂小学校 1年 高妻理愛さん



宮崎市立加納小学校 6年 桐木あかりさん



宮崎市立宮崎東中学校 2年 川島あいりさん



小林市立細野小学校 4年 種子田陽菜さん

宮崎市立宮崎東中学校 3年 田崎麻央さん



宮崎県ユニセフ協会 会長賞



都城市立明道小学校 2年 東英汰さん



宮崎市立檜北小学校 3年 青山実来さん



綾町立綾小学校 5年 濱砂心希さん



宮崎市立宮崎東中学校 1年 中武新菜さん



宮崎市立宮崎東中学校 2年 佐藤美空さん

※この絵画展は宮崎県ユニセフ協会サポート会員様にご協力いただいています

現在ご加入いただいている宮崎県ユニセフ協会サポート会員様 (敬称略)

(株)東産業	(株)テレビ宮崎	(株)坂下組	宮崎ガス(株)	コマツ宮崎(株)	(株)松岡林産	(株)宮崎太陽銀行
(株)コーポレーション・クリエイト	(株)丸商建設	太信鉄源(株)	(株)みゆき学園	昭和興産(株)	(株)宮崎放送	

第2回みやざきSDGsフォーラム (みやざきSDGsプラットフォーム主催) に参加

テーマ: 宮崎のありたい未来を描く～地方で鍛えるデモクラ筋～

2026年1月24日～1月25日 宮崎国際大学

基調講演: 「持続可能な社会はなぜ民主主義から生まれるのか」

ヨアキム・ハッセル・ルンストロムさん (デンマーク: デモクラシーフェスティバル協会)

※デモクラ筋: 民主主義を「制度」ではなく、筋トレのように鍛えられるスキルと捉えた言葉で、①好奇心筋 ②傾聴筋 ③共感筋 ④意見筋 ⑤勇気筋 ⑥反対意見の表明筋 ⑦言葉への自信筋 ⑧妥協筋 ⑨活動家筋 ⑩動員筋 からなる

SDGsを目標で終わらず、宮崎の人々が対話を通じて意思決定する重要性を学んだ。

少数意見を尊重しながら合意形成を図る姿勢や、自分の意見を伝えながら相手の意見にも耳を傾け議論の落としどころを探っていくという民主主義に欠かせない力が鍛えられた。これらの民主主義に必要な力をユニセフ出前授業でも子どもたちに伝えていきたい。

ユニセフ出前授業・学習会

宮崎市立住吉中学校

アクションカードゲームクロスに挑戦！トレードオフ（一方を得ようとすると、他方を犠牲にしなければならないというジレンマ）を解決するアイデアを話し合いました。



「どうにか繋げてみよう」「これってこんな使い方もできるよね！」とユニークな発想がみられ、盛り上がりました。

きびしい状況にいる世界の子どもたちのことを一緒に考えてみませんか。「ユニセフってなあに」「子どもの権利について」「SDGsについて」などの出前授業・学習会を行っています

- 9月4日（木）宮崎市立赤江中学校 3年生 105名
「SDGsの取り組みについて」
- 9月11日（木）25日（木）宮崎市立住吉中学校 1年生 105名
「ユニセフと世界の子どもたち」
- 10月8日（水）宮崎大学教育学部 1年生 32名
「ユニセフの活動を通してボランティアについて学ぶ」
- 10月17日（金）宮崎学園中学校 1年生 Tクラス 35名
「ユニセフの仕事や職業・社会とのつながりについて」
- 11月17日（月）高鍋町立高鍋西小学校 5・6年生 13名
「ユニセフの活動について」
- 11月21日（金）宮崎学園中学校 3年生 94名
「ユニセフの仕事と国際貢献」

アクションカードゲームXクロスとは？



募金活動

ガザ人道危機緊急募金・アフガニスタン地震自然災害緊急募金活動

9月28日（日）宮交シティ3階
ボーイスカウト宮崎第4団の皆さん
赤江中学校 3年生 7名



ご協力して下さった皆様
ありがとうございました

ハンド・イン・ハンド募金活動

12月7日（日）
ボーイスカウト宮崎第3団の皆さん
宮崎山形屋前

12月13日（土）
宮崎学園中学校 3年生 4名
宮交シティ3階

12月21日（日）
ガールスカウト宮崎県連盟の皆さん
宮崎山形屋前



ボーイスカウト宮崎第3団の隊長から感想をいただきました

貴重な体験をさせていただき、子どもたちも社会の役に立てる行動ができたことを意識できたかと思えます。募金の金額は、**栄養治療食約400食分**ですね。募金に参加した小学2年生の長男が、漢字練習帳にユニセフのことが書いてあったと喜んで教えてくれました！今回を機に、子どもたちも、自分たちでも社会をよくできるんだという意識を持ってもらえるといいなあと思っております。

ハンド・イン・ハンド募金額合計 156,224円

ハンド・イン・ハンド協力企業・団体様 ご協力ありがとうございました

宮崎太陽銀行・宮崎日日新聞社・宮崎県医師会・宮崎県歯科医師会・宮崎県商工会連合会・布の樹
風の菓子虎彦・天領うどん門川店・かどがわ温泉心の杜・日向市観光協会・ボーイスカウト宮崎第3団
ガールスカウト宮崎県連盟・宮崎学園中学校（敬称略）

ユニセフは、世界の子どもたちの生まれもった権利が守られ、学ぶ権利や遊ぶ権利が奪われないよう、そして尊厳のある生活が送れるよう、活動を展開しています。
ユニセフ募金にご協力をお願いします。

ゆうちょ銀行
振替口座：00190-5-31000
口座名義：公益財団法人日本ユニセフ協会
※通信欄に K1-450 と明記ください

栄養治療食



1袋 52円（2025年1月）
1袋で小学校中学年の
給食1食分のカロリー

9月 4日 (木)	ユニセフ出前授業「SDGsを知ろう」	赤江中学校
9月11日 (木)	ユニセフ出前授業「SDGsを知ろう」	住吉中学校
9月13日 (土)	みやざきボランティア応援フェスティバル2025	宮崎市総合福祉保健センター
9月20日 (土)	ユニセフ協会 九州地区交流会	熊本県ユニセフ協会
9月25日 (木)	ユニセフ出前授業「SDGsを知ろう」	住吉中学校
9月28日 (日)	ガザ・アフガニスタン緊急募金活動 協力：ボーイスカウト宮崎第4団 赤江中学校	宮交シティ3F
10月 8日 (水)	ユニセフ出前授業「地域や社会のために貢献していこう」	宮崎大学
10月17日 (金)	ユニセフ出前授業「ユニセフの仕事や職業、社会とのつながり」	宮崎学園中学校
11月 5日 (水) ~9 (日)	第4回ユニセフ絵画展「わたしたちの未来～今、考えること～」	宮崎県立美術館県民ギャラリー1
11月 9日 (日)	第4回ユニセフ絵画展 表彰式	宮崎県立美術館アートホール
11月17日 (月)	ユニセフ出前授業 「ユニセフってなあに？」	高鍋西小学校
11月17日 (月)	学習会 (ひなたカレッジ) 講師：進藤弘騎氏	Zoom
11月21日 (金)	ユニセフ出前授業「ユニセフを通して生き方を考える」	宮崎学園中学校
11月23日 (日)	ユニセフ出前授業 子ども食堂「SDGsってなあに？」	和知川原公民館
12月 7日 (日)	パレット文化祭2025	宮崎市男女共同参画センター
12月 7日 (日)	ハンド・イン・ハンド募金活動 協力：ボーイスカウト宮崎第3団	宮崎山形屋前
12月13日 (土)	ハンド・イン・ハンド募金活動 協力：宮崎学園中学校	宮交シティ3F
12月15日 (月) ~24 (水)	ユニセフ展示会「第4回絵画展入賞作品展示会」	宮崎銀行本店ロビー
12月18日 (木)	学習会 (運営委員) 「現在の国際貢献の現状」講師：進藤弘騎氏	市民プラザ小会議室
12月20日 (土)	ハンド・イン・ハンド募金活動 協力：ガールスカウト宮崎県連盟	宮崎山形屋前
2月14日 (土) ~15 (日)	Out of KidZania in のべおか	九州医療科学大学
2月19日 (木)	2026年度 理事・評議員会	市民プラザ大会議室
毎月第3木曜日	運営委員会	
毎月1回	ひなたカレッジ ミーティング	

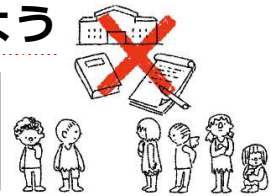
募金協力者様 (敬称略) (2025年9月1日~2026年2月28日)

宮崎県マンション管理組合連合会 (株) シンク・オブ・アザーズ 布の樹 高鍋西小学校児童会 宮崎県商工会議所連合会
 宮崎大学附属中学校第28回卒同窓会 宮崎キネマ館 ※個人の皆さま方からもたくさんのご協力をいただいております

SDGs ーロ×モ SDGs 目標 5 ジェンダー平等を実現しよう



6 歳から 11 歳の子どものうち、一生学校に通うことができない女の子は
 男の子の約 **2 倍** です。



(公財) 日本ユニセフ協会賛助会員 募集中!

賛助会員は、世界の子どもたちのために様々な活動を行っている日本ユニセフ協会の国内における活動と地域組織の活動を会費によってご支援いただくものです。会員になると、会員証を発行し、機関紙「ユニセフニュース」(年4回発行)をお届けします。

現在ご加入いただいている宮崎県内の日本ユニセフ協会団体賛助会員様

(株) 宮崎放送 西部生コン(株) (株) NPK (株) 丸商建設 (敬称略)

◎ 会費は税額控除の対象になります

一般賛助会員 (個人の方)

年間一口 5,000 円

学生賛助会員 (18歳以上の学生の方)

年間一口 2,000 円

団体賛助会員 (企業・団体など)

年間一口 100,000 円

宮崎県ユニセフ協会サポート会員 募集中! 企業・団体が対象 一口 10,000 円 (3 口以上)

宮崎県ユニセフ協会の活動 (絵画展開催、若者ボランティア育成事業など) を会費によってご支援いただいております。

※会員名は p.2 参照

編集後記 ブラジルで活動中の進藤さんには、ひなたカレッジと運営委員、2 回にわたって講演をいただきました。現場のリアルな状況報告に出席者はひきこまれていました。昨今の世界情勢は大きく変化していて、厳しい生活環境にある子どもたちが生き抜き成長していくために、ユニセフはより大きな役割が求められています。宮崎での募金活動には一般の中学生が参加してくれました。彼らの思いが叶う時代になるといいですね。 事務局 神戸

